

WYS交換留学生OG・OBからのひとこと(1)

留学期間中の WYS Student Report 及び留学後の感想文をもとにしています。

野村 日菜子 福岡雙葉高等学校2年生時に留学

2014年度WYS交換留学生
ワシントン州Battle Ground High School留学

アメリカ

●あなたのホストスクール (11月期のレポートより)
Battle Ground High School (生徒数:約2000人)、アメリカの学校は日本のように決められて時間割、ホームルーム、先輩・後輩関係がありません。自分で選択した授業で、1限目は8:00からなので、1限目の教室に8:00までに着いていればOkです。アメリカの子はとても大人っぽく、見た目でもホントに学年が分かりません。皆、学年に関係なく仲良くしています。アニメやマンガが好きなお子もいれば、アイドル(One Directionなど)が好きなお子もいます。スクールカラーはオレンジと黒で行事の時は、皆この2色で全身統一です!スポーツに燃えていて、たくさんクラブがあります。学校のシンボルは虎で、学校の横にTiger Bowlといって学校専用のボーリング場があります。(この学校ではボーリング部はとても強いです!)

●学校生活について(11月期・12月期のレポートより)
履修科目の中でユニークな授業として化学があります。いろいろなおかしや物の食べる前と食べた後の見た目の違いについて実験し、homogeneousか heterogeneousかを調べました。体育ではボーリングの授業をしています。最初は授業が全く分からなくて、友人もおらず先生にも積極的に聞くことが出来なかったけれど、今は分からないことや助けが必要な時はすぐに先生や友人に聞くことが出来ています。テストの成績が悪かったら、再テストをすぐ受けられるよう先生と交渉したりして、自分が出る限りの努力をして良い成績を保っています。月に1回出る成績には、"とても努力している"と評価して下さる先生ばかりなので、日々の努力を怠らず、皆さんの期待にこたえられよう頑張ります!



原田 佳南 横間市立みなと総合高等学校2年生時に留学

2014年度WYS交換留学生
コロラド州Vista Ridge High School留学

アメリカ

●学校生活の印象について(8月期から12月期のレポートより)
授業を受けて最初の印象は、ほとんどの生徒が授業を真面目に受けていること。居眠りをする人は一人もいませんが、でもお菓子を食べている人はいます。授業が理解出来ません。宿題が多く、クラスとクラスの移動時間が短く、友達の言っていることが理解できません。10月、宿題をちょっと忘れると、すぐに成績が下がります。12月、宿題を一人で出来るようになったり、Host Fatherのギャグが分かるようになりました。アメリカの行事や習慣など、今まで知らなかったことを学びました。学校のsprit weekとか、チェストとか、ビリヤードとか。前期はちょっと消極的だったので反省、来学期は学校や地域の活動とか、いろいろなことに積極的に挑戦したいです!

●クリスマスはどのように過ごしましたか(12月期のレポートより)
クリスマスまでの準備が大変でした(日本の元日みたいなの?)。ツリーは、本物の大きなツリーを買って、飾り付けをしたのに、水あげをするのを忘れて、枯れたので、新しいものを買ったのですが、大きすぎて天井ぎりぎりまでになってしまいました。私の3倍くらいあります。屋根に登って、ライトで家を飾りつけました(お家の中も)。クリスマス当日は、昼は料理の準備をして、夕方に家族、親戚、友達が集まって、教会に行きました。教会では、歌を唄ったり、キャンドルを持ってとても幻想的でした。その後、みんなで家に戻り、ごちそうを食べたり、ゲームをしたりしました。25日の朝は、家族でプレゼン開けました。すごい量のプレゼントでとても楽しかったです。1歳のKennedyに買ってあげたぬいぐるみが犬用でした(笑)。Host Parentsには映画のチケット、夕食を作る券、とペーパーシッター券をあげました。Host Momがこのプレゼンをとても気に入ってくれました。その後、Host Dadの友達一家が来て、歌を唄ってくれました(笑)。それから、近くのホテルの庭にお散歩に行くと、夜は映画を見ました。クリスマスは家族でという感じで、日本のお正月みたいな感じでした。

廣瀬 玲士 千葉県立成田国際高等学校2年生時に留学

2013年度WYS交換留学生
米国ニューメキシコ州Clayton High School留学

アメリカ

●今学期の時間割(8月期のレポートより)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
8:00 ~ 8:50		Shop	-----	-----	-----	----->
9:08 ~ 9:58		Algebra II	-----	-----	-----	----->
10:02 ~ 10:52		Chemistry	-----	-----	-----	----->
10:56 ~ 11:46		Geometry	-----	-----	-----	----->
12:49 ~ 13:39		English III	-----	-----	-----	----->
13:43 ~ 14:33		History	-----	-----	-----	----->
14:37 ~ 15:27		Bay Athletics	-----	-----	-----	----->

●友人・家庭生活・英語の上達について(1月期のレポートより)
話をしたりランチを食べたりする友人だけでなく親友がいます。努力はしています。日本の事を聞かれたら沢山話そうにしたり、常におもしろい事ばかりしています。日本では数学や化学で遊んでいるので教えてあげたりもしています。ホストファミリーが花屋なのでお店を手伝ったり(力仕事や接客など)、料理もしています。土日のどちらかに教会(なるべく家族と)に行きます。このシーズンはバスケの試合が入っている時が多いので、教会に行けない時もあります。英語は周りから上達したと言われます。1時間目の自習時間に、SATの勉強をパソコンを使ってやっています。最初は単語から、そしてReading, Mathと50分の時間を充実させるようにしています。

●今までの留学生生活を振り返って(1月期のレポートより)
とにかく楽しくやれていることが幸せです。11月にバスケを始めて以来、前より忙しいですが練習も毎日友達と頑張っています。3月の中旬には陸上のシーズンに移行するので自分は長距離に挑むことを考えています。家族とはいつも笑って、時には子供達を叱ったり、もちろん家事も手伝っていますので、本当の家族の一員になれた気分が嬉しいです。いろいろな所へ連れて行ってくれますし、学校では毎日の授業が楽しみです。今年に入ってからスペイン語も始めて、いよいよ3か国語しゃべれるようになれそうです。残り4か月ほどですが、出来るだけ多くの思い出を作ってから帰国したいです。



庄司 有希 北海道立室蘭栄高等学校2年生時に留学

2014年度WYS交換留学生
ジョージア州Cherokee High School留学

アメリカ

●あなたの滞在地域について(10月期のレポートより)
アメリカ合衆国の東部にあるジョージア州に滞在しています。州都はアトランタ、アメリカでも6番目に大きい都市だそうです。私が滞在しているのは、アトランタから車で40分程にあるカントン市です。夏、日中はとても暑く、北海道民である私にとってはとても厳しい気温でしたが、室内はクーラーが効きすぎていてとても寒いです。今は、11月に入ったところですが、北海道よりも南に位置しているのに北海道並みの寒さです。黒人、白人はもちろんメキシコ人もよく見かけます。さすがに、アメリカは多民族国家!いろいろな人に会えるこの環境に感謝しています。

●ホストファミリーとの生活の始まりについて(8月期・1月期のレポートより)
最初にールについて話をしました。基本的に自分のことは自分ですること。毎朝6:45にきちんと自分で起きています。洗濯は木曜日に自分でします。基本的にホストファミリーと一緒にいきたいかどうかと聞かれたら、必ず一緒に行動しています。毎週末は朝から昼までホストファミリーと必ず教会へ行き、ボランティア活動などに参加しています。また、週末は家族でゆっくりボードゲームをしたり、映画を見たりと、のんびり過ごします。ホストファザーとランニングをしたり、ホストファザーのソフトボールを見に行ったりもします。とても有意義な時間を過ごせています。

日本から持参して良かったもの

折り紙、日本のお菓子、文法書、多めの筆記用具、複数の財布、漢字の入ったTシャツ、ノートパソコン、USBカード、電子辞書

必要なかったもの

ルーブリーフのバインダー、世界史、政経の資料集



片寄 里佳子 国府台女子学院高等学校2年時に留学 **ニュージーランド**

2014年度7月期WYS交換留学生
ニュージーランドTamatea High School

●学校生活とスクールカウンセラーへの相談 (9月期のレポートより)
先月受けたSchool Examの数学のテストで、クラスで一番の成績を取りました!先生や同じクラスの子にはほめられて嬉しかったです。そのおかげか、数学の授業中に解き方を聞かれるようになり、時々教えることがあります。
先日、来年の授業選択があり、その際、スクールカウンセラーに教科について相談しました。2月の新学期には、英語・歴史・ESOL・ツーリズム・家庭科・マオリパフォーミングアートを取る予定です。来年Year 13になりますが、Year 13の英語と歴史は英語のレベルが高すぎると言われたので、Year 12の授業を取ります。マオリパフォーミングアートはハカを学ぶ授業です!自分にとって、良い経験になると思ったので選びました!!

●あなたの滞在地域について (8月期のレポートより)
ニュージーランド北島のネーピアに住んでいます。ネーピアは、海沿いにある町で人口もそんなに多くない小さな町です。タウンには、アートデコというデザインの建物がたくさんあります。ネーピアでは1931年に大きな地震があり、現在のアートデコの建物は全て再建されたものです。ニュージーランドの中でも観光地として有名なので、夏には世界中からたくさんの観光客が集まります。とても素敵なお店です!
気候は、今の季節(夏)は最高温度がだいたい15度です。太陽が出ている日は暖かいです。夜になると一晩で温度が下がります。海が近いせいか、風が強いです。



菊地 達矢 福岡県立小倉高等学校1年時に留学 **ニュージーランド**

2013年度7月期WYS交換留学生
ニュージーランドWainuiomata High School留学

●学校生活について (1月期のレポートより)
学校生活の中で一番楽しいことはComputer クラス、一番嫌なことは時々訪れる孤独タイム (何か周りに誰もいない時間)。好きな科目はComputer、得意な科目はScience、MathとAccountingの先生の授業が楽しいです。

履修科目について

- Math: 計算機前提なので、自分で持っていた日本のものをやりつつとすれば良かった。まあおもしろかった。
- Science: 自分が好きな科目で、先生にも褒められてモチベーションが上がった。単語も色々覚えた。
- ×Geography: 初めの頃取っていました。正直難しかったので変更(理解できるが、考える時にはもう話題が変わっていた)
- Computer (Level 1,3): 難しかったが、それ以上に取って良かった。
- ESOL: どうだろう…。色々興味深かったが、Englishでも良かった(来期取る)
- △Accounting: とにかく難しかったが、友達が結構教えてくれた。でも難しかった。好きな科目を取った方がまわりと話しやすいからいいと思います。でも、逆にAccountingなどは教えてもらうことで、友達と仲良くなったりもしたので。運がからむと思います…。

Host Countryで珍しい食べ物について (12月期のレポートより)

- ・ベジマイト、マーマイト (パンに付けて。自分は大嫌い)
- ・Pablos (野菜、肉なんかをオープンで焼いたもの)
- ・L & P (飲み物) ・Fish and Chips、Lamb (NZだけではないけど)
- ・Sub Way (サンドイッチチェーン/少なくとも北九州にはないはず)
- ・Pie (mince, stake, etc) ・Blade Pudding (怖くてまだ食べていない)
- ・Pana Fritter (貝) ・Hokey Pokey (甘いアイスの味)

亀山 希樹 八戸聖ウルスラ高等学校1年時に留学

2014年度2月期WYS交換留学生
ニュージーランドCentral Hawke's Bay College

●この1か月の間でのニュース、履修科目について (9月期のレポートより)
前期の登校率100% awardをもらいました!もらったのは、学年でたった3人です。同学年の女子の中で1日も休んでいません。
履修科目の中で取って良かった科目はDrama、英語を話す機会が多い。グループで一緒にやることが多いので、みんなと仲良くなれます。良くなかった科目はArt、同じ作業の繰り返し、個人作業なので孤独、やっていてあまり楽しくなかったです。



●最後のレポート、この留学を振り返って (11月期のレポートより)
振り返ってみると本当にあっという間の10か月だったし、10か月も居たんだという気持ちだけで、今までと違う環境で過ごす10か月はとても貴重な経験でした。
“楽しかった” “早かった” “とか単純な言葉では言い表せないような、自分にとって価値のある日々でした。自分のことについて考える時間がたくさんあって、自分の強みとか、何が得意なのかを考える時間が多かった。日本に帰ってからもモチベーションを高くキープしたまま、色々なことにチャレンジしていきたいと考えています。

辛いこともストレスと感ずることもなくはなかったけれど、振り返ると楽しい思い出、Happyなことばかりで、おかげでずっとホームシックにもならず充実した300日でした。NZで過ごした日々は、これからも一生忘れないし、ここに来て、今のファミリーと暮らせて本当に良かったです。10か月をやりきったとか、達成感とかはあまり感じませんが、日本に帰ってからこの経験を何かに生かせたらと思います。
10か月間ありがとうございました!



栗山 未来 立命館高等学校2年時に留学

2014年度7月期WYS交換留学生
ニュージーランドTaranaki College

●今学期の授業について (7月期のレポートより)

Time	Date	Day1	2	3	4	5	6
8:40 ~		English	Sports R	Food TE	PE	Math	ESOL
9:40 ~		PE	Math	ESOL	Food TE	English	Sports R
10:40 ~ 10:55	Form Time						
10:55 ~ 11:15	Interval Time						
11:20 ~		Food TE	English	Sports R	ESOL	PE	Math
12:20 ~		ESOL	PE	Sports R	Sports R	Food TE	English
1:20 ~	Lunch Time						
2:15 ~		Math	Food TE	English	Math	ESOL	PE

●学校生活と家庭生活について (1月期のレポートより)
学校生活の中で楽しいことは、友達と休み時間にしゃべったり、ふざけあつたりすること。一番嫌なことは、会話をしていて相手の言っていることが理解できなかつた時に「気にしないで」と言わせてしまうこと。好きな科目は、PE、スポーツ&レクリエーション、日本と違っているいろいろなゲームをします。毎日、はだして走りまわっていました。図書館は、英語の授業で本を借りる時に利用しました。
さて、家庭生活についてですが、このホストファミリーに来てから7か月、毎日いろいろな質問をしてくれたり、その日に起こった出来事を教えてくれたりします。私がNZで様々な体験が出来るようにと、いろいろな所にも連れて行ってくれました。私は、とりえず「これは今しか出来ない事!」と思って笑いながら楽しんでます。7か月もいると、本当家族のようで、日々の生活の中で私のためにやってくれていることが当たり前のように感じてしまうことがあるけれど、それでも「ありがとう」というひとことを言うようにしています。後は、頼まれていなくてもお手伝いをするを心がけています。



WYS交換留学生OG・OBからのひとこと(2)

留学期間中の WYS Student Report 及び留学後の感想文をもとにしています。

和田 優 東洋英和女学院高等学校1年時に留学

フランス

2014年度WYS交換留学生
フランスLycée François ler

●今学期の時間割

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
8:30 ~ 9:25		数学	-	体育	化学	-	-
9:25 ~ 10:20		国語	英語	体育	化学	地理/歴史	-
10:30 ~ 11:25		国語	経済	化学	科学/生物	美術	数学
11:25 ~ 12:20		-	(経済)	英語	科学/生物	美術	数学
13:15 ~ 14:10		英語	-	-	国語	-	-
14:10 ~ 15:05		-	数学	-	英語	英語	-
15:10 ~ 16:05		道徳	地理/歴史	-	地理/歴史	国語	-
16:05 ~ 17:00		英語	-	-	-	-	-

- *生徒数：約1600名 教員数：106名 学期：3学期制
- *語学以外は基本的にすべて必修科目なので変更不可です。

●学校生活について(9月から12月期のレポートより)

初日から積極的に様々な人に声をかけるようにしています。どんな小さな事も色々聞いてみたりしています。日本に興味をもっている子も沢山いるので、思っていたよりも積極的に交流できています。授業の雰囲気は日本とそんなに変わりません。宿題は日本より少ないように感じます。先生はとりあえずおしゃべりにうるさいです。難しい教科は、化学・物理と国語。化学・物理は実験結果、公式などより文章が多いです。国語はそもそも読むことが難しいです。

12月に入り、フランス語は周りからは上達したと言われます。分からない単語に出くわした時はすぐに辞書を引く、板書の隣の欄に単語リストにしておく、動詞の活用が全て載っている本を現地で購入、など工夫して頑張っています。

●クリスマスはどのように過ごしましたが(12月の課題より)

おじいちゃんとおばあちゃんの家に行って、ホストシスターとブラザーの従姉妹や伯父さん、叔母さんと一緒にパーティーをしました。料理は伝統的な(?)牡蠣や蟹などの魚介類とエスカルゴやサーモンでした。こちらの人は、何でも夜遅めなので、食事が21:00頃から始まり、寝るのは3:30過ぎという感じで、とても楽しかったのですが、とても疲れました。翌朝は、晩にツリーのふもとに置いておいた靴のところにプレゼントが用意されていて、私も洋服とプレスレッドをもらいました!とても嬉しかったです。

五十嵐 優衣 九州国際大学附属高等学校2年時に留学

ベルギー

2014年度WYS交換留学生
ベルギーOnze Lieve Vrouw College留学

●今学期の時間割

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
8:30 ~ 9:10		GOD	AAR	DUITS	NED	GOD
9:20 ~ 10:00		MO(音楽)	WIS	BIO	FYS	WIS
10:30 ~ 11:20		WIS(数学)	ENGELS	GEDRAG	LO	NEO
11:30 ~ 12:10		FRA	〃	GES	〃	〃
13:40 ~ 14:20		WISI	FRA		NED	CULT
14:40 ~ 15:10		CHEM	〃		GEDRAG	GES
15:20 ~ 16:00		PO(美術)	GEDRAG		CULT	FRA

●新しく始めたこと・クラスについて(10月~11月期のレポートより)

学校で月曜日の16:20~18:00、放課後約2時間、オランダ語のextra lessonを1対1でして下さるようになりました。すごく有り難いし、役立っています。

日本ではほとんどの授業は、教室で待機していれば先生が来ますが、こちらはほぼ毎時間移動教室です。また、2時間目、6時間目の後に、15分間のプレタイムがあります。水曜日は毎週、学校が昼までなので好きな日です!授業の中で、発表する人が多いです。みんな積極的です。宿題はたまに出ますが、あまり多くありません。先生は、静かな先生が少ない気がします。みんな、仕草が大きく、授業が退屈ではありません。



中西 志門 明星学園高等学校3年生時に留学

イタリア

2011年度WYS交換留学生
イタリア Liceo Galileo Galilei留学

●時間割と現在難しい授業について(9月期・10月期のレポートより)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
1		Math/Fisics	Philosophy/History	Latin/Ita	Philosophy/History	Latin	Philosophy
2		Math/Fisics	Philosophy/History	Latin/Ita	Philosophy/History	P.E	History of Art
3		Latin/Ita	Fisics	P.E	Mathematics	Chemistry	Design
4		English	Chemistry	Latin/Ita	Latin	English	Mathematics
5		Latin/Ita	English	Religion	Chemistry	Fisics	-----

- *イタリアでは時間割の変更が多く、日によって変わることもあります。

●クラス風景・前期の学校生活を振り返って(11月期・12月期のレポートより)

私の学校はとても規律が取れているように思います。日本の学校では、授業中のように静かにし、先生がクラスに来たら起立するなど思いもよらない事です。また、休み時間が各1分、3時間と4時間の間に10分と圧倒的に少ないです。イタリアではテストは口頭と記述、プレゼンテーションがあり、いつあるのかは科目ごとに異なりますが、口頭試験はいつになるのか予測不能なので生徒は継続的に勉強をしなくてはなりません。クラブはないので、学校が終われば次期生徒は全員下校します。



清水 真由 九州国際大学附属高等学校2年時に留学

ドイツ

2013年度WYS交換留学生
ドイツ Altkönigschule留学

●今期の時間割について(9月期のレポートより)

(A)	Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
	8:50 ~ 9:20		政治・経済	音楽	体育	英語	生物
	9:40 ~ 11:10		ドイツ語	ドイツ語特別授業	英語	数学	物理
	11:30 ~ 13:00		数学	歴史	ドイツ語特別授業	-----	ドイツ語特別授業
	13:45 ~ 15:15		-----	-----	-----	-----	宗教
(B)	Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
	8:50 ~ 9:20		生物	音楽	政治・経済	英語	体育
	9:40 ~ 11:10		ドイツ語	ドイツ語特別授業	ドイツ語特別授業	ドイツ語特別授業	ドイツ語特別授業
	11:30 ~ 13:00		数学	歴史	〃	-----	英語
	13:45 ~ 15:15		-----	-----	-----	-----	宗教

- * (A)weekと(B)weekがあって毎週交互に時間割が変わります。二つ時間割があります。
- * 学校のクラブ活動：バスケットボール、オーケストラ、合唱団、サッカー、ソフトボールなど

●あなたのホストファミリーを紹介して下さい。(11月期のレポートより)

私のホストファミリーは6人家族で、みんなが仲が良く、とても優しいです。ホストファミリーがアメリカ人なので、みんな英語がペラペラです。家の中では、英語とドイツ語が聞こえます! Johanna(ホストシスター)とBernhard(ホストブラザー)は学校などの関係で一緒に住んでいませんが、長期休みの時は帰ってきます。ホストマザーは私の為にいろいろ考えてくれて旅行を計画してくれたり、よくクラシックコンサートに連れて行ってくれます。Elizabeth(ホストシスター)はいつも私に分かりやすくドイツ語を教えてくれるし、悩んだ時は相談にものってくれます。よく一緒に日本食を作ります(笑)。Charaは一番下のホストシスターで、すごくおもしろいです。テーブルゲームをしたり、おどったりして一緒に遊びます。冬休みは、久しぶりに家族全員がそろうので楽しみです!



WYS交換留学生OG・OBからのひとこと(3)

留学期間中の WYS Student Report 及び留学後の感想文をもとにしています。

Saara Maria TUOMISTO

2014年度WYS交換留学生
出身高校: Kallion lukio, Helsinki, Finland
留学先高校: 関東学院六浦高等学校

フィンランド

フィンランドは「The land of thousand lakes」と呼ばれ、美しい森、ムーミンとサンタクロースでも知られている国です。人口は約5万人の小さな国で、首都はヘルシンキ、大きな街ではありませんが、有名な建築や、たくさんのイベント、アクティビティが盛りだくさん。公用語はフィンランド語とスウェーデン語ですが、ほとんどの人が英語を話します。

フィンランドの家族は、日本の家庭より厳しくないかもしれませんが、子どもたちの自主性を尊重します。両親は共働きが多く、子どもは習い事などに忙しいですが、家事を家族全員で協力して行います。クリスマスや家族の誕生日は大きなイベントで、親戚が集まったり、家族旅行を楽しみます。日本とフィンランドの学校はあらゆる面で違います。フィンランドの学校決まりごとが少なく、制服がなく、髪型やアクセサリーなども自由です。授業は自分で選んで時間割を組みます。お昼ご飯は学校から提供されるので、生徒はお弁当を持って行きません。私は日本のお弁当が大好きなので、フィンランドに戻ったら寂しく感じると思います。

フィンランドは、1年のほとんどが寒いです。秋と冬はとても寒い日が続きますが、春と夏は太陽がたくさん照って明るく、人々はお天気を楽しめます。夏には白夜があり、全く夜にならない日もあります。フィンランドは寒いので、食べ物はほとんどが温かいです。揚げたり、茹げたり、オープンで焼いたりしたものが多く、ポテトやお肉、サーモンをよく食べます。

Moi! I'm Saara, a 17 year old high school student from Helsinki, Finland.
Finland is a country that has a lot to offer. Even though I live in Helsinki, I never get bored of it's scenery, stop finding new places or trying new things. If you are thinking of becoming an exchange student to Finland, go for it! Being an exchange student is an experience you'll never forget. Since Finland and Japan differ so much, I am sure it will be a great experience that you can learn a lot from. Take the chance to become a part of a different culture and share yours too.
Tervetuloa Suomeen! (= Welcome to Finland!)



Kevin Andrew ERAZO

2013年度WYS交換留学生
出身高校: Rytmus Musikergymnasiet, Nacka, Sweden
留学先高校: 明星学園高等学校

スウェーデン

スウェーデンの学校生活について:

スウェーデンの人口は950万人ぐらゐ、公用語はスウェーデン語ですが、ほとんどが英語を話せます。首都はストックホルムで、220万人ぐらゐが住んでいる町です。スウェーデンのライフスタイルは忙しくなくて、友達と遊んだり、映画を見に行ったり、フィカしたり、ボウリングしたりします。フィカはスウェーデン人の一番好きな活動です。コーヒーショップで何か飲んで、甘いパンかサンドウィッチを食べると言う意味です。静かなスウェーデン人が多いから「フィカしましょう」はすごくいい初対面の言葉です。さて、スウェーデン人は小学校から大学まで無料で勉強が出来ます。主要科目は国語、英語、数学で、小学校の一年生からそれらの科目の勉強が始まります。全国の学校は中学校まで大体同じですが、高校から専門の勉強が出来ます。音楽、美術、土木やプログラミングが選べますが、普通の社会系及び科学系の勉強もあります。時間割は学校によって違いますが大体は8:30~15:00です。学校が終わったら、部活がないので生徒は家に帰ったり、バンドの練習をしたり、友達と遊んだり、クラブかカルチャースクールに行ったりします。余暇の時間では色々なスポーツのクラブがあって、音楽と美術のカルチャースクールもあります。学校では一般的に生徒と先生の関係は近く、先生はいろんなことを話せる存在でもあります。学校の雰囲気は、非常にリラックスしており、自分の関心や興味のある勉強をすることも出来ます。宿題とレポートは大体フリー、そして内容は自分で選べます。また、グループワークが多いのもスウェーデンの学校の特徴です。スウェーデンのライフスタイルのように学校は自由で、日本からの生徒も自主性を学ぶことになるでしょう。



Sina MARIE HAAVE

2013年度WYS交換留学生
出身高校: Elvebakken Vidergaende Skole, Oslo, Norway
留学先高校: 福山市立福山高等学校

ノルウェー

ノルウェーの学校生活について:

ノルウェーの学校生活は日本と大変違っていています。大きな違いは授業です。日本では生徒が静かに先生の話を聞いて、ノートを取る授業が多いですが、ノルウェーではパソコンを使ったり、グループに分かれてプレゼンテーションを行うことが多く、宿題もあまり無く、勉強は生徒の自主性に任されています。自分の関心や興味がある教科が選択できるので、もっと深く勉強をすることが出来ます。その代り、教科の数が日本と比べたらちょっと少ないです。ノルウェーではもちろんノルウェー語の方がよく使われていますが、10代のノルウェー人ほとんど英語が話せて、またアメリカやイギリスの文化にも興味をもっています。一方で、最近日本文化(特にアニメや漫画)に興味がある子も増えています。そういう子の中には、日本語に興味がある子も多くおり、ノルウェーの高校でも声をかけてくれると思います。

もう一つの学校生活の大きい違いは部活。ノルウェーには部活がありません。学校では勉強が中心です。それでも、最近、何か勉強以外の活動という学校が増えていますが、現状では部活ほどの学校にも絶対にあるとは言えません。学校にある場合は、演劇部のようなもので、本格的な活動をしており、プロと同じレベルのところもあります。しかし、学校で部活がなくとも、学校以外ではとても多くの習い事が出来ます。半分以上の生徒は少なくとも一つの習い事に行っています。

最後の大きい違いは、ノルウェー人の生徒はほとんど誰も塾に行っていないことです。ノルウェーでは、皆、勉強を学校が家、もしくは図書館でしています。学校で手伝ってもらえる事が多く、また図書館では無料で静かに勉強ができるので、塾は必要ともされていないと思います。一言でまとめると、ノルウェーの学校では授業中心ですが、全体的にとっても自由な環境であり、面白くて楽しいところが多いです。ユニークな時間を作り出すのも自分次第という良さがあります。日本人の高校生、大歓迎ですよ!



村上 芽衣 高崎商科大学付属高等学校2年時に留学

2014年度WYS交換留学生
韓国忠原(チュンウォン)高等学校

韓国

●今学期の時間割

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri
9:00 ~ 9:50		ホームルーム	国語	社会	体育	数学
10:00 ~ 10:50		体育	韓国史	国語	社会	韓国史
11:00 ~ 11:50		英語	美術	数学	進路について	技術家庭
12:00 ~ 12:50		〃	〃	社会	科学B	〃
12:50 ~ 13:40		お 昼				
13:40 ~ 14:30		音楽	数学	学活	英語	英語
14:40 ~ 15:30		国語	科学A	部活	音楽	科学B
15:30 ~ 15:50		そ う じ				
15:50 ~ 16:40		国語	進路について	-	-	韓国史

●留学生活の始まりで感じたこと(9月期のレポートより)

最初に日本人だし、言葉も完ぺきでなかったのでもって不安でした。でも学校初日に、みんなが怒ら顔を出して、手を振ってくれたり、知っている日本語をたくさん言ってくれたり、とてもあたたかく受け入れてくれました。今通っている学校には、日本語を話せる人が一人もいないので、韓国語が分からなくても自分達でどうにかしなければなりません。また、基本、学校が終わるのは10時、勉強は12時まで、毎日ハードですが、とても充実していると思います。あまりにも、日本と違うことが多すぎて、カルチャーショック気味ではありますが、とても楽しいです!

●授業科目について(11月期のレポートより)

基本的に科目の選択はありません。理解しやすい科目は数学、難しい科目はやはり国語や韓国史です。専門用語が出ると、辞書で調べようがないので大変です。英語は、英語と韓国語が同時に取得できるのでやりがいがあります。

